

2019年度

入園のご案内



美しい 楽しいことを
たくさん味わう

幼稚園生活



学校法人 緑が丘学園

認定こども園 京王幼稚園

保育園部 (0歳児～2歳児) TEL.025-287-1773
幼稚園部 (満3歳児～5歳児) TEL.025-286-4803
ホームページ: <http://www.keio-kindergarten.jp/>

学校法人緑が丘学園 認定こども園 京王幼稚園

緑が丘学園

【私たちが目指すもの】

ひとりひとり
かけがえのない子どもたち
あなたはかけがえのない
大切な命であること
その命は輝き
そのものであること
これらを知ってもらうこと
心から感じてもらうこと
それが私たち大人の
使命です

●キャッチボール帳

子どもたち一人ひとりの表情、姿をお知らせする成長記録です。



- 「全日私幼連PTA新聞」を各ご家庭に配布しております。親子が存分に幼稚園での生活を楽しみ、お子様の成長に感動したり、子育ての「ヒント」を提供しながら、幼児期の教育がいかに大切かをわかりやすく伝えています。



姉妹園のごあんない
学校法人緑が丘学園
緑が丘幼稚園
(満3歳児～5歳児)

※平成30年4月より幼保連携型認定こども園に移行しました。

〒950-0012

新潟県新潟市東区有楽3丁目4番地4

TEL 025-275-3372

HP:<http://www.midorigaoka.com>

保護者のみなさまへ
地域、保護者、社会に支えられ
子どもたちの
“なぜ?” “どうして?” “なに?” の
輝く目に心を向けて創立26年

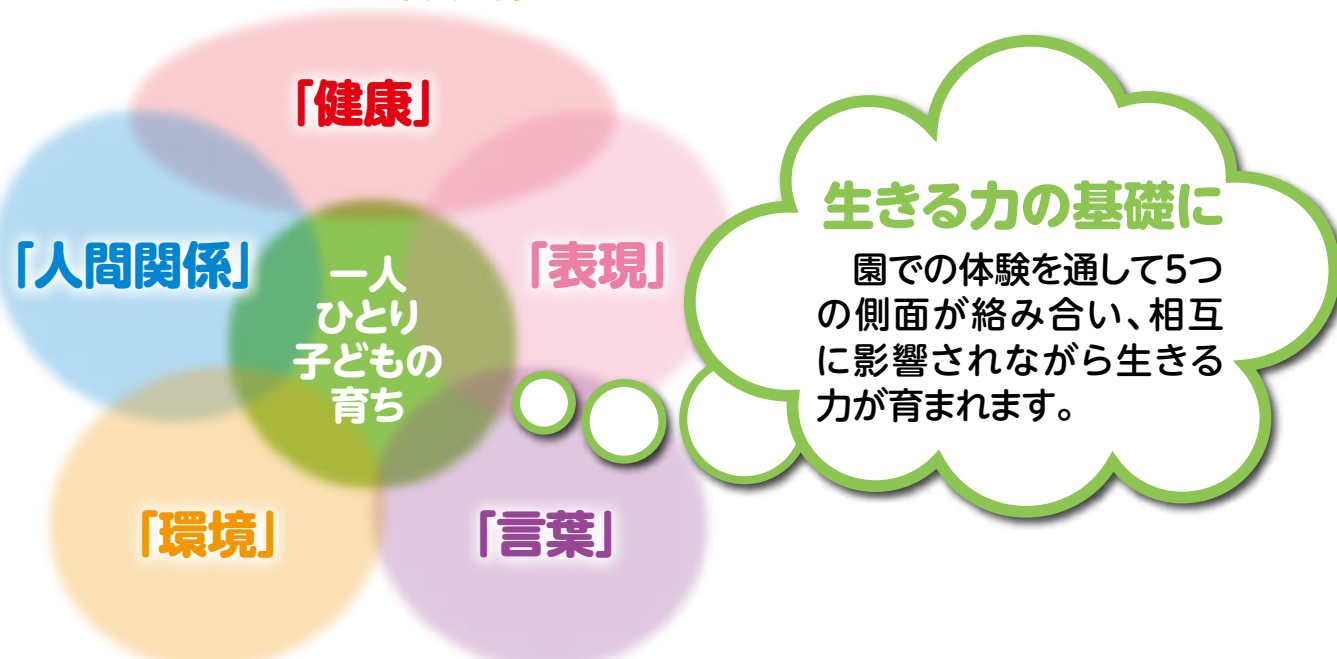
幼稚園教育の目標

「生きる力」の基礎を身につける

考える力、工夫する力、物事に直面した時に解決する力、
人と交わる心情的力のことをいいます。幼稚園は、「生きる力」の
基礎をはぐくむことを目指します。

「生きる力」の基礎をはぐくむために5つの領域があると考えます。
これはこどもの育ちの窓口です。

5つの領域



京王幼稚園教育目標

●自然体験(戸外遊び)を通して幼児期にふさわしい知的発達を養う

1.心もからだも健康でたくましい子ども(健康)	・からだを動かすことを楽しみ、意欲的に運動や遊びをする。 ・自分から進んで挨拶や返事ができる。 ・健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身につける。 ・明るくのびのびと行動し、充実感を味わう。
2.友だちと仲良く遊ぶ子ども(人間関係)	・友だちや先生と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ・遊びのきまりや、約束を知り、守ろうとする。 ・自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいて共に考えたり、協力し合って遊ぶことができる。
3.好奇心、探究心を持って遊びを創るこども(環境)	・五感で自然を感じ、不思議さに気づいたり遊びに発展させたりして楽しむ。 ・命あるものの存在に気づき大切にする。
4.友だちと会話を楽しむ子ども(言葉)	・自分の気持ちを言葉で表現し、伝えあったり、共有したりすることができる。 ・童話や物語を聞いたり絵本を見たりして自身で絵本と同じ空想の世界を楽しむ。
5.豊かな心で表現を楽しむ子ども(表現)	・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ・感じたことや考えたことを、自分なりに表現して楽しむ。 ・生活の中でイメージを豊かにし様々な表現を楽しむ。

学年別努力目標

0歳児	・安心できる保育者との関係の下で、周囲の人や物に興味を示し、自分から働きかける
1歳児	・行動範囲が広がり、見たり触れたり自分であろうとする気持ちが芽生える。 ・保育者に親しみ、安心して自分の欲求や、思いを表現する。
2歳児 満3歳児	・簡単な身の回りのことを自分であろうとする。 ・保育者や友だちと一緒に言葉を使って伝えたり、言葉のやりとりを楽しんだりする。
3歳児	・集団の中の自分の存在に気づき、自分のしたいことや感じたことを表現しようとする。 ・遊びの中で基本的生活習慣を獲得していく。
4歳児	・自分の想いやイメージを言葉に出して伝えあい、受け入れながら友達と一緒に遊べるようにする。 ・遊びの中で基本的生活習慣を獲得していく。
5歳児	・自分なりの課題を乗り越えたり、個々の良さが生かされてグループ遊びが主体的に進められるようにする。 ・遊びの中で基本的生活習慣を確立していく。

子どもの育ちはすぐに表れるものではありません。幼稚園修了まで長期の見通しをもち、ご家族の方々のご協力を得ながら、子どもひとりひとりの育ちにかかわっていきます。



一日の生活リズム

保育園部(0歳児～2歳児)

7:30～	○開園（早朝保育） 随時登園 ・おはようございます ・検温(0,1歳児) ・好きな遊びをみつけて遊ぼう!(各保育室で、ゆったりと遊びます!) ・排せつ、手洗い
9:30～	○午前のおやつ ○クラスで楽しむ活動 ・好きな遊びの他、制作、リズム遊び、外遊び、おさんぽをしたり、季節の遊びや行事を楽しみます。
11:00～	○排せつ、手洗い ○給食(施設内で作られたおいしい給食をいただきます) ○午睡準備～午睡
14:30～	○めざめ、排せつ、手洗い
15:00～	○午後のおやつ ○降園準備
16:00	○順次降園 ・延長保育(保育教諭とゆったり過ごします)
19:00	○閉園



一日の生活リズム

幼稚園部(満3歳児～5歳児) 教育標準時間(午前保育(給食なし))11:30降園の日もあります。

7:30～開園(早朝保育) 8:30-9:00頃 登園	○好きな遊び 着替えや荷物の整理ができれば、保育者が整えた環境に自分から関わり、好きな遊びをします。
10:30頃	○クラスや学年で取り組む活動 保育者が提案する活動を集団で楽しみ、保育者は学びを支えます。
11:30頃	○昼食(完全給食)※月1回程度おべんとうの日 昼食の前には排泄、手洗い、大切なリズム。 みんなで食べる給食は、大切な一斉活動の時間です。
12:40頃	○休息 昼食後のおなかの休憩時間です。 午睡 ※満3歳児・3歳児は必要に応じて午睡を取っています。
13:30頃 14:00過ぎ	○好きな遊び 思い思いに好きな遊びを楽しみます。 絵本の読み聞かせなどで明日につなげる静かな時間を過ごします
14:30 降園	○みんな揃ってさようなら
14:30～	○たんぽぽの時間 〔保育認定・預かり保育(希望者)〕



幼稚園教育のキーワード 「遊び」

心ゆさぶる遊びは、
真剣に物事に向かえるように育ちます

遊びが子どもの**“仕事”**であり**“学び”**です。季節感あふれる豊かな**“遊び”**を通して、自分自身の個性を大切にし、人、生き物、自然、すべての価値を尊重でき、感じられるところとからだを育みます。



年間行事



4月の行事

- 入園式
- 家庭訪問(希望制)、参観保護者会
- リトミック教室(年長・年中組 毎月2回、年少組11月より参加)
- 参観保護者会



5月の行事

- 学級懇談会
- 交通安全教室
- メロディオン教室(年長・年中組1学期に2回)
- 英語であそぼう(年長組5月、年中組6月、年少組1月スタート)



6月の行事

- 水泳教室(年長組・5日間)
- 内科検診(年2回)、歯科検診
- 尿検査(年中、年長)
- 保育参観



7月の行事

- 七夕祖父母会
- お泊まり会(年長組・県立少年自然の家)
- 夏休み



8月の行事

- 夏休み
- 夏季保育
- 京王こどもまつり(午後親子で参加)



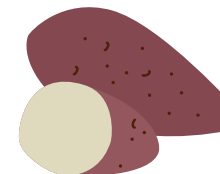
9月の行事

- 運動会(鳥屋野総合体育館)
- 秋の親子遠足



10月の行事

- いも掘り



11月の行事

- 文化祭(園児作品展・バザー)
- 観劇



12月の行事

- 発表会
- クリスマス会
- 冬休み



1月の行事

- もちつき大会



2月の行事

- 豆まき会
- 音楽参観日



3月の行事

- 参観保護者会
- お別れ会
- 卒園式
- 春休み



遊びの ひとコマ

～あそびや行事を通して
四季の変化を感じとります～

たのしいおはなしの
はじまり、はじまり～



ゆきだるまさんの
ぼうしだね



給食(食育)の役割

◆ 幼児期の食育は、「楽しく食べる」こと、「おいしく食べる」ことから始まります。
集団生活だからこそできる「友だちや先生と一緒に食べる喜び」を味わっていきます。

◆ 献立には、お米を多く取り入れるようにして、栄養面でも注目されている「玄米」「雑穀」も使い、動物性蛋白質だけではなく、旬の野菜と良質な植物性蛋白質である豆製品も多用した、一見派手さはなく地味であっても丁寧に作られた素朴な「おかず」を用意していきます。

◆ 食べ物は「生きもの」。食べることは、生きることです。食材そのものと、作ってくれた人に感謝をし、「いのち」そのものをいただいていることを幼児期に実感できるよう保育者としてつとめて参ります。

◆ 園内にある給食室で調理しています。(アレルギー食につきましても対応しております。ご相談ください。)



幼少期は感性を大切に

- 歌やリズムは私たちの生活を潤してくれます。心に感じたままを表情と声に表現してくれます。
- 子どもたちと保育者が顔を見合わせ一緒に歌うことで、一体感を楽しみ、心を解放するひとときを味わいます。
- 幼児期は、歌いたい、弾きたい、きれいだな、気分がいいな…という思いを知っていきます。
- わらべうた ♪ ♪ ♪ 大人から子どもへ・おとうとやいもうとへと遊び継がれ歌いつがれていってほしいと思います。

あがりめさがりめ



あ がりめ さ がりめ ぐるりとまわって ね このめ

なべなべそこぬけ



な べ な べ そ こ ぬ け そ こ が ぬ け た ら か え り ま し ょ

- 「描く・作る」遊びは一人ひとりの心を表現します。こう描くものだとかこういう風に作る物だという決まりはありません。

- ◎その子どもの想像の幅を広げてあげられること
- ◎子どもたちが描きたい気持ちが湧き起こる様、描きたくなる環境づくりを心がけること
- ◎その子どもの表現をそのまま受け入れること

を大切にしていきたいと考えています。



～遊びが育てるこどもの体力～

- ◆「子どもの体力が低下している」という記事を、最近よく目にします。長い時間立ってられず、すぐ、ぐにゃぐにゃしてしまう、背筋が伸びない、散歩時、すぐ「疲れた」と言う子どもが増えている…!?など
- ◆就学前は、からだの発達がめざましい時期。自分をしっかり支えられる「体力」を育むために、当園では毎日の生活にも身体を使った遊びをたっぷりと取り入れて、生活をしています。
- ◆すみずみまで身体を動かす大切さや、ころんだり、すりむいたり小さな体験のステップを重ねて、逞しさや判断力が育ちます。

※年長は月1回カワイ体育教室の講師と一緒に遊んでいます。



専任の講師と一緒に

リトミック遊び

- ◇リトミック教育は、乳幼児期に行うことにより豊かな想像力で素直に表現できる健やかな体と感受性豊かな優しい心を育みます。
- ◆「リトミック」とは良いリズムという意味で、リズム運動により精神と肉体の調和と発達を狙う教育法です。
- ◆教え込んだり、おしつかけたり、つめこむのではなく、音を聴くことを基本とし、耳から吸収するだけでなく、身体全体で感じ取られるように、一人ひとりの表現力を生かしながら遊びます。
- ◆子どもたちの内面にあふれる、音楽表現の豊かさが潤います。

英語であそぼう

●ねらい

- 遊びの中で英語の発音の響きや感覚を楽しむ。

ネイティブスピーカーの講師により口から伝え、耳から英語に慣れていくことで、乳幼児期の耳に英語の響きを届ける。

▲内容

- △講師と繰り返しのふれあいながら、遊びや歌を通して耳から英語に慣れる。

実体験がはぐくむ
豊かな感性と判断力

～自然の中で五感がフルに働き
子どもたちの目は輝きます～

■当園は、姉妹園である緑が丘幼稚園の近くにある「こども野菜園」で栽培を行っています。小さな種や苗であったものが太陽と水と気によって育ち、実をつけていく様に触れ、その実を使い、食す体験です。

■野菜の双葉の時期、茎が伸びる時期、葉が茂るとき、つぼみをつけるとき、花を咲かせるとき、実をつけるとき…そのときどきを楽しみながら、大切に見守る中で、優しさや驚き、不思議さを知っていきます。

子どもたちは自然との絆を深め、実体験を通して本物のいのちの大切さを感じます。

■子どもたちは、自分たちが育てたものが、おいしくなって食べられる、この発見と感動体験は、どんな**ことば**や**知識**にもまさります。

「自然体験には発見と感動がある」
土づくり→野菜づくり→土にかえす
さつまいものたい肥って、あったかい!

春土づくり

「さつまいものつる」が「たい肥」になるって 不思議だね



そして、つるは冬の間、雪の下でじっと春を待ちます…



さつまいも
どこかな?
あ、見つけた

秋収穫

さつまいも栽培より
収穫の喜び・気づき



さつまいもの
たい肥だよ。
あったかい

わたしもこんなに
ほれたよ



長いつるで
つなひき
わっしょい!



生活に必要な習慣を 身につける

～意欲をもち、習慣化できるよう一人ひとりの
関わりを大切に见守っていきます～

●京王幼稚園では3歳児で基本的生活習慣の習得を目標としています。生活習慣を身につけることは、子どもたちが安心感や自信を持って遊び、周囲と関わって行くようになる為の、基本のひとつと考えているからです。

●生活に必要な習慣の第一歩は家庭で行われます。園では、子どもたちがそれぞれの家庭で獲得してきたものを、保育者や他の子どもたちと共に生活する中で、社会的にも身につけていく場です。

●子どもたち一人ひとりに応じた細やかな対応が大切です。やがて、子どもたちは自ら達成感につながる心地よさを求めて自律的に行うようになります。保育者や大人の行動を模倣しながら自分でやろうとする気持ちが芽生えます。その気持ちを温かく見守り、励ましながら手を添えていきながら、自立心や社会性を育てていきたいと思ひます。

排泄行動のスムーズステップ

トイレに行く→パンツを下ろす→排泄をする→排泄の始末
→水を流す(ボタンを押す)→パンツを上げる→
手を洗う(水道の栓の開閉)→タオルで手をふく→トイレから出る

- サインを見逃さない
- 保護者と園(保育者)との連携した働きかけが大切になります。
- 楽しくなる環境づくり

トイレが楽しくなるよう、心がけます。子どもの気持ちを汲んで、無理強いをしないこと。できたときには大いにほめ、自信をつけましょう。



- ひとつのことだけを
- 順序だてて
- ひとつ、ひとつ正確に
- ゆっくりと、子どもの呼吸に合わせて
- やってみせる

(例1)



①まずは大人が穴にボタンを入れて、それを子供が引っ張る。

トンネルを通りますよ。



②次に子どもが片手でボタンをつまみ、もう片方の手の親指を穴に入れる。



③ボタンを穴に入れて、反対側の手の親指と人さし指でつまみ出す。

(例2)

①服のすそを手前にして、自分の前に置く。

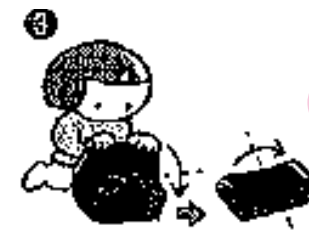


②片方のそでを内側にたたむ。もう片方も同様に。



そでさん
こんにちは

③前身ごろを上
に折り返し、
さらに半分にたたむ。



はんぶんこ
はんぶんこ

➤ 保護者との連携

- 園だよりを毎月ご家庭にお配りします。毎月の行事や連絡事項などお願い、ご協力いただきたいことを掲載します。



- 学年だよりは年長・年中・年少・満3歳それぞれ子どもたちの出来事や様々な遊び(活動)についてご報告します。(各ご家庭へのお願いも含めて)
- クラスだよりは子どもたちがどんな遊びをしているのか、どんな活動をしているのか、子どもの口から出るつぶやきなど…園生活の様子をお知らせしていきます。子どもたちの思いを共有したり、子どもたちの動線を身近に感じていただく園と家庭をつなぐツールのひとつとしています。

